

ゴム・プラスチック加工を 軸に短納期で良品提供

納期
相談
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

業務内容
幅広い加工手がけ
顧客ニーズを的確に把握

「亜木津工業」は工業用部品として使われるゴムやスポンジなど柔軟素材の切削・打抜加工から、エンジニアリングプラスチック、ノンアスベストシートの複雑形状加工まで幅広く手がけている。なかでも、「削りにくい素材」の切削加工を得意とし、金属や木材以外ほとんど削ることができる胸を張る。扱う製品のほとんどがオーダーメイドとなっているため小ロットへの対応は容易で、短納期にも迅速に込えている。もともと営業会社としてスタートしているため、顧客のニーズを的確に把握しており、納期も徹底して遵守していることが大きな特徴だ。

強み
全社をあげて
品質管理を徹底

ゴムやスポンジなどの柔軟な素材であつても、高い精度を出せる技術力が光る。ブロック状の素材から削り出す加工では、精度だけでなく製品がきれいだと顧客からも好評だ。同社では顧客に喜んでもらうため、より高い品質の製品づくりを目指しており、顧客に応じて技術力にプラスアルファした提案にも力を入れている。

また品質管理も徹底しており、(一社)日本品質管理学会認定の「品質管理(QC)検定」に、製造部門だけでなく事務に携わるアシスタントも含めて挑戦。130名以上の合格者を輩出しており、究極の目標である良品率100%達成へ向けて全社一丸で取り組んでいる。

**財用
人活**
人中心の企業活動へ
環境整備や気配りも

従業員を「最高の仲間」と表し、人中心の企業活動も心がけている。楠本光晴社長は

「優れた製品を生み出し、納期を守り、品質を確保すること。これらはすべて、人の力があつてこそ」と強調する。

品質を高めるための丁寧な作業につながるよう環境整備を進めるほか、安全衛生にも力を入れISO45001の取得に取り組む。また、従業員の過重労働につながらないよう身の丈に合った成長を目指すなど、随所に気配りがされている。特別なことではないが、すべてが「人財」活用につながる直結しており、それにより会社の信頼や利益に通じていくと考えている。

**今後の
展望**
三方良しのスタイルで
さらなる成長を

現在、同社の扱う加工素材ではゴムの比率が高いが、市場の大きさからもプラスチック素材の拡大を進めていく方針だ。技術的に取り組みたいことはあるが、まずは受けた仕事に責任を持って取り組んでいく。現状に満足せず、今以上の高精度化や短時間製造などを追求するつもりだ。

さらには日本一納期の短い会社と認められるよう、規模拡大より中身の充実に力を注ぐ。そのためには生産管理システムの拡充も不可欠であり、積極的な設備投資も視野に入れている。そのうえで、すべての関係者が幸せになる「三方(顧客、仕入れ先、従業員)良し」のスタイルを継続した成長戦略を描いていく。



NC(数値制御)旋盤のプログラミング



NCフライス加工風景

当社の歴史



昭和53年に創業し、アスベストジョイント製品の取扱商社としてスタート。その後は自社加工に取り組み、現在ではゴム製品やエンジニアリングプラスチックなどの切削まで手がけています。今後も、小ロット対応や短納期、高品質な製品を生み出し、お客様の要望にお応えしてまいります。

代表取締役 **楠本 光晴**さん

<http://akitsukogyo.com/>

主な事業内容

工業用ゴム、スポンジ、プラスチック製品などの幅広い素材の加工

主な取引先(納入先)

工業用品取扱商社

●住所

〒577-0011
東大阪市
荒本北3-2-1

●TEL

06-4309-2212

●FAX

06-4309-2218

●創業

昭和53年6月

●設立

平成8年10月

●資本金

1,000万円

●従業員

150名